

(明治二十三年六月)

工學會誌 第二九百九卷

免許狀 中越 高岡市 高岡伏木 <small>四二〇 四二一</small>	會社位置 線路區間 哩數	○明治三十一年度中下付ノ鐵道敷設免狀										水管延長 池數 面積 英尺 三五九六	自宅引 用戶數	共用栓 使用戶數	共用栓 栓數	共用栓 栓數	栓噴 數水	栓防 火數	中水料 一年度 三元三九		
		水道 道館 (函館 區)	長崎 郡	長崎 道	水道 道	曾屋 中郡	相模 留地	横濱 市	横濱 市	水道 道	居留 地										
中越 高岡市 高岡伏木 <small>四二〇 四二一</small>	會社位置 線路區間 哩數	水道 道館 (函館 區)	長崎 郡	長崎 道	水道 道	曾屋 中郡	相模 留地	橫濱 市	橫濱 市	水道 道	居留 地	八三五五	二〇五五	二〇五五	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六
中越 高岡市 高岡伏木 <small>四二〇 四二一</small>	會社位置 線路區間 哩數	水道 道館 (函館 區)	長崎 郡	長崎 道	水道 道	曾屋 中郡	相模 留地	橫濱 市	橫濱 市	水道 道	居留 地	八三五五	二〇五五	二〇五五	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六
關西 四日市町 <small>四二二</small>	會社位置 線路區間 哩數	水道 道館 (函館 區)	長崎 郡	長崎 道	水道 道	曾屋 中郡	相模 留地	橫濱 市	橫濱 市	水道 道	居留 地	八三五五	二〇五五	二〇五五	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六
河原田津 <small>四二三</small>	會社位置 線路區間 哩數	水道 道館 (函館 區)	長崎 郡	長崎 道	水道 道	曾屋 中郡	相模 留地	橫濱 市	橫濱 市	水道 道	居留 地	八三五五	二〇五五	二〇五五	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六	三五九六

假免許狀

日任意解散セリ

成田	常野	丹後	伊豫	九州	都賀	丹波	大分	佐原	小見川
根子	眞柄	峯京	眞柄	門福	板榜	宮津	湯嶋	川嶋	烏山
千同	根子	行全	千同	門福	板榜	宮津	湯嶋	佐原	小見川
葉	鄉葉	橋	葉	司岡	木木	山都	岡木	鄉葉	千同
町	村縣	町	町	町縣	町縣	町府	町縣	村縣	門門
松	熱愛	青青	黑岩	金靜	千同	田ノ浦	飯塚	柳木	軌道
山	門	森森	澤尻	指岡	根子	曾根	鹿沼	鹿沼	幅員
市	司	田知	尻	町縣	木蘇	成田川越	長尾	柳木	八伊豫
町	町	町縣	尻	町縣	更津	田ノ浦	飯塚	柳木	六二
横	平	小倉	野邊地	掛川	我	曾根	鹿沼	柳木	軌道
河	井	名古屋	大湊	豊川	老吳	田ノ浦	鹿沼	柳木	幅員
原	河	戸畠	御油	釜石、黑澤尻	三・五	曾根	鹿沼	柳木	八伊豫
原	原	三・四	三・四	三・四	三・四	三・五	三・五	三・五	三・五
三・四	四・〇	三・四	三・四	三・四	三・四	三・五	三・五	三・五	三・五

三・二・六	モ三咲六時ナリ○(大社両山)ハ昨三十一年十二月十八	赤江米子
三・一・五	三・一・五	大宮熊谷
二・六	唐櫛三田	横井河原
毛・糸	七・〇	三・四〇
八・壹	六・九	二・三・九
京北	上京岡崎町	二・〇・〇
東京市	大津	一・五・〇
備後	兵庫縣	一・〇・〇
伊豫	野山島町	一・〇・〇
南北	松山市	一・〇・〇
倉敷高梁	山島町	一・〇・〇
唐三電氣	松山市	一・〇・〇
福廣	數山町	一・〇・〇
有兵	伊豫	一・〇・〇
京市	南北	一・〇・〇
東京市	備後	一・〇・〇
大社両山	毛糸	一・〇・〇
廣島市	八・壹	一・〇・〇
赤江米子	京北	一・〇・〇

博多灣	九州	興業	唐津	京板	福粕	時	三電氣	備後	伊豫	南北	上武	大社兩山
東京市	門司町	唐佐津賀町	同	東京市	東京市	大社兩山	有兵野庫村	廣島市	松山市	倉敷市	東京市	廣島市
東京市	門司町	唐佐津賀町	同	東京市	東京市	大社兩山	廣島市	松山市	倉敷市	東京市	東京市	廣島市
東京市	門司町	唐佐津賀町	同	東京市	東京市	大社兩山	廣島市	松山市	倉敷市	東京市	東京市	廣島市
東京市	門司町	唐佐津賀町	同	東京市	東京市	大社兩山	廣島市	松山市	倉敷市	東京市	東京市	廣島市

赤江、米子
廣嶋赤江
大宮熊谷
倉敷高梁
平井河原
横河原
上京岡崎町津
福山府中
唐櫃三田
三十一年七
宇美、太宰府
界塙、芳谷半田郡
小石川富坂
板橋、
兩岸鐵
奈多、篠栗要
遠賀川、室木本
志賀嶋、宮田
宮田、弓削田植本
宮田、弓削田植本

卷之三

(明治二十三年六月) 第二回 百九卷 工學會誌

薩南	鹿兒嶋市	鹿兒嶋、谷山	六〇〇
阪鶴	大阪市	川西、梅田	一〇四〇
南河	大阪市	上山田、篠栗	三四〇
嘉穂	和歌山市	黒江、田邊	四〇〇
南紀	奈良市	深岬、山崎	一〇〇
奈良	奈良市	黒澤尻横手	四〇〇
岩秋	向井阪村府	粉濱、津守	四〇〇
城南	東京市	世田ヶ谷	二・六
高野	東京市	麻布二ノ橋	四・〇
九州	門司町	前原、船越	三・五
東武	門司町	博多、伊万里、 福岡、篠栗	一・〇
鳴原	門司町	中間、木屋瀬 下大畑、小梅所	一・〇
東京市	門司町	戸畠、名古屋崎	元・〇
軌道幅員ハ(伊豫ノ二呎六吋、宇佐ノ二呎九吋、百萬ノ一呎九吋ヲ除クノ外他ハ孰レモ三呎	一	一	一

安房	河南	北千代
甲武	阪北	同
總武	池大	東京
阪東	養島	市
同	田坂	市
東京	市	市
富大	大田	北千代
條菜	坂	坂
林	町	町

香椎、宇美	柏原、長野	北條、和田
柏原、長野	本所、秋葉原	北千代
本所、秋葉原	新宮、勝浦	柏原
新宮、勝浦	柳ヶ瀬、兩川	柏原
柳ヶ瀬、兩川	新宮、勝浦	柏原
新宮、勝浦	撫養、高松	柏原
撫養、高松	津田、西ノ宮	柏原
津田、西ノ宮	銀飯治田	柏原
銀飯治田	町町	柏原
町町	町	柏原
町	町	柏原

六時ナリ

○航海獎勵怯合格汽船(其四十二乃至四十六)

船名	船主	船種	總噸數	最強速力	登錄國籍	進水月日	證書下付月日
因幡丸	日本郵船株式會社	鋼製汽船	六、一九一・八六	一四・二一	三十一年十二月	三十年六月	三十二年一月九日授
神奈川丸	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	六、一五〇・五二	十三年四月	二十九年十月	三十二年三月廿七日回
旅順丸	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	一四・四八	十五年四月	廿二日英國ニテ	三十二年三月廿七日回
丹波丸	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	四、七九三・九九	十二年十二月	二十五年十一月	三十二年四月十八日回
河内丸	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	一三・八五	八年二月	十九日英國ニテ	三十二年四月十八日回
丸全	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	六、一〇二・一二	十一年三月	三十一年八月	三十二年四月廿一日再
河内丸全	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	一四・三一	三十一年三月	三日英國ニテ	三十二年五月八日授
河内丸全	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	六、〇九九・四三	三十一年九月	二十日英國ニテ	三十二年五月八日回
河内丸全	日本郵船株式會社	鋼製汽船	全	一四・四九	三十一年九月	三十一年一月	三十二年五月八日回

右四坪西常

○第十二號度津丸

越佐濱船株式會社ノ注文ニヨリ大坂鐵工所ニテ製造中ナリシ第十二號度津丸ハ去ル三月末進水セシ由ナルガ該船ハ鋼製二重甲板旅客及貨物運送ニ兼用スルモノニテ長百六拾呎幅貳拾四呎六吋深拾七呎六吋總噸數凡四百八拾噸機關ハ聯成冷濱式凡參百五拾實馬力ヲ有シ其構造ハ英國ロイド一等保險及遞信省造船規程ニ合格シ專ラ北海ノ航運ニ使用セラル、モノニシテ目下新潟港ヘ海口淺キガ故ニ貨物滿載ノ時モ吃水拾呎トナルベキ構造トナセリト云フ

○明治三十年末瓦斯會社現況

東京瓦斯株式會社	瓦斯管延長	街燈基數	引用戶數	同燈數	收 入	支 出
明治三十年	一一・三七	六六八	五、一二六	三三二、七七四	三二七、五六三	一六一、一三三三